

アクリルエマルション系
微弾性下地調整塗材

DIA

ダイヤ
アクリスフィラー

JIS A 6909 可とう形改修塗材E

F☆☆☆☆

各種の改裝下地調整に最適。
工事の流れをスムーズにし、工期を短縮します。
特殊アクリル樹脂採用の一液可とう形改修用仕上塗材です。

● 各種の下地調整に最適

弾性系塗材の塗り替えのほか、各種既存塗膜の下地調整に適しています。

● 良好な下地追従性

可とう性を有していますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックを生じません。

● 優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れなどへの目つぶし効果（充てん性）に優れ、付着性を向上させます。

● シーラー不要で工期短縮

シーラーが不要ですので作業性が良く、工程・工期の短縮ができます。

ダイヤアクリスフィラー

特 長

● 各種の下地調整に最適

弾性系塗材の塗り替えのほか、各種既存塗膜の下地調整に適しています。

● 良好な下地追従性

可とう性を有していますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックを生じません。

● 優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れなどへの目つぶし効果(充てん性)に優れ、付着性を向上させます。

● シーラー不要で工期短縮

シーラーが不要ですので作業性が良く、工程工期の短縮ができます。

性能試験データ

試験項目		品 名	アクリスフィラー	S社 エマルジョン系フィラー	試験方法
付着強さ N/mm ²	標準状態	1.6	0.9	JIS A 6909	
	浸 水 後	1.0	0.5		
温冷繰り返し試験		異常なし	異常なし	JIS A 6909	
伸び率（％）	20℃	57.5	43.0	JIS A 6909	
	-10℃	3.2	11.7		
既存塗膜との付着性	アクリルリシン面		○	△	JIS A 6909
	スタッコ面		○	△	
	吹付け タイル面	アクリルエマルジョン系上塗り	○	○	
		アクリル溶剤系上塗り	○	○	
		弾性アクリル溶剤系上塗り	○	○	
		ウレタン溶剤系上塗り	○	—	
		弾性ウレタン溶剤系上塗り	○	—	
仕上塗材の適合性	ナチュラルウレタン		○	—	JIS A 6909
	パーマールウレタン		○	—	
	パーマールシリコン		○	—	
	パーマールW		○	—	
	ニューデポール		○	—	
	ハイパーウレタン		○	—	
	ハイパーシリコン		○	—	

○……可能 △……条件付きで可能

梱包単位

ダイヤアクリスフィラー …………… 16 kg/18 ㍑缶

適用下地

- 塗り替え：弾性塗材、リシン、スタッコ
吹付けタイル面など
- 新 築：ALCなど

標準施工仕様

① ビフレッシュウォール (U・Si・W) 工法

工 程	材 料	調合割合	所要量	塗 回 数	間隔時間	
					工程内	工程間
素地調整	各改装工事仕様に基いて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください					
下地処理	ダイヤアクリスフィラー	16 kg		1	—	5時間以上
	中毛ローラー	1.0～1.3 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	0.3～0.5 kg/㎡			
清 水	多孔質ローラー	0.5～0.8 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	0.8～1.0 kg/㎡	1	—	16時間以上
	吹付	1.3～2.0 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	0.6～1.0 kg/㎡			
上塗り (U)	ダイヤパーマルウレタン	16 kg	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—
	清 水	0.5～2.0 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	45～64 m ² /缶			
上塗り (Si)	ダイヤパーマルシリコン	16 kg	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—
	清 水	0.8～1.6 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	45～64 m ² /缶			
上塗り (W)	ダイヤパーマルW	16 kg	0.25～0.35 kg/㎡	2	2時間以上	—
	清 水	0.8～1.6 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	45～64 m ² /缶			

※ほかの上塗材についてはお問い合わせください。

② ビフレッシュウォール (AR・SiR) 工法

工 程	材 料	調合割合	所要量	塗 回 数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
素地調整	各改装工事仕様に基いて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行ってください							
下地処理	ダイヤアクリスフィラー	16 kg						
	中毛ローラー	1.0～1.3 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	0.3～0.5 kg/㎡	1	—	5時間以上		
清 水	多孔質ローラー 吹付	0.5～0.8 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$ 1.3～2.0 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	0.8～1.0 kg/㎡ 0.6～1.0 kg/㎡	1	—	16時間以上		
	AR工法 (中塗り)	ダイヤニューデポールR	16 kg	0.6～0.7 kg/㎡ 22～26 m ² /缶	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
清 水	AR工法 (上塗り)	ダイヤニューデポールR	16 kg	0.2～0.3 kg/㎡ 53～80 m ² /缶	1	—	—	中毛ローラー
	清 水		1.0～1.4 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$					
SiR工法 (中塗り)	ダイヤハイパーシリコンR	16 kg	0.8～1.0kg/㎡					
	清 水		0～0.5 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	16～20 m ² /缶	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
SiR工法 (上塗り)	ダイヤハイパーシリコンR	16 kg	0.2～0.3 kg/㎡					
	清 水		1.0～1.4 $\frac{\text{㍑}}{\text{㎡}}$	53～80 m ² /缶	1	—	—	中毛ローラー

※ほかの弾性塗材についてはお問い合わせください。

施工器具

- 中毛ローラー、多孔質ローラー、ジュラクガン、エアレス

■ 施工・管理上の注意

- ①セメント質下地は、表面の含水率が10%以下 (pH10以下) になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ②材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、施工後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残りバリとなります。
- ③コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ④下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、剥離等の生じの原因となります。
- ⑤施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- ⑥施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化が発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑦本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑧希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎると仕上らないことがあります。
- ⑨常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けて下さい。
- ⑩工程間隔時間は充分取って下さい。
- ⑪材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ⑫施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシートSDSをご確認下さい
- ※既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存膜がセメント下地の場合には、高圧洗浄後に「ダイヤガンシーラー」または「ダイヤワイドシーラー」を塗布して下さい。
- ※PC板、GRC板等への施工は避けて下さい。必要上塗布の場合は営業所にご相談下さい。

※ダイヤアクリスフィラーの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する事があります。特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクリスフィラーを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/㎡以上)を推奨します。